



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利

年度初めのご挨拶

病院長 脇田 富雄



日頃より当院および関連施設の運営に、ご支援とご協力を頂き感謝申し上げますとともに、医師会の先生方をはじめ、地域の保健・医療・介護・福祉に携わっておられる皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された年度であったかと思いますが、年度末より医療従事者に対するワクチン接種も始まりました。ワクチン接種が広まっていくと集団免疫が確立され、落ち着いていくのかもしれませんが、変異型ウイルスの問題も出てきております。一部の変異型ウイルスは、ワクチンの効果が減弱するとの報告もあり、今後の状況についてはまだまだ予測困難なところがありますが、上天草総合病院は、上天草地域の市立病院としての役割を果たすべく、市民の皆様、連携施設の皆様のために、保健・医療・介護その他の提供を継続して行い、職員一同一丸となって、対応していく所存です。どうぞ、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

このような状況の中、「地域医療拠点病院」としての役割を果たすためにはどのようなことをすべきか、地域の連携体制をさらに発展させていくためには何が必要か、どうすればいいかを考える必要があります。平時や緊急時の紹介患者に対する医療の提供、へき地診療所への医師派遣などによる支援、在宅医療の提供などを安心して円滑に進めていくために、どうすればいいかを考える必要があります。天草という広い地域の中でそれぞれの医師が実践していくことには限界があるかと思われまますので、ネットワークを広げることがニーズに応えるためには大切だと思えます。そのためのキーワードは、IT・

ICT・IoT・AIなどといった技術ではないかと考えています。地域での医療・介護などを提供・展開していくためには、少ないマンパワーをいかにして最大限に活かしていくかが必要です。ウィズコロナの中、リモートでのWEB会議などが開催され、またオンライン診療といった遠隔医療も行われるようになりました。このような情報通信技術を利活用し、他の医療機関との連携、バランスよく社会資源を利用するネットワークの構築・発展が必要であると考えます。住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域包括ケアシステムの構築・推進を図るためには、医療・介護の連携が大切であり、天草という広い地域で連携を推進していくためには、IT・ICTといった広域で情報が共有できる技術が欠かせないと思えます。在宅医療の取り組みを推進するための在宅医療サポートセンターとして活動も行っておりますが、在宅医療サポートを推進するためにも、高齢化の進展や地域医療構想の推進に伴う在宅医療ニーズの増加に対応していくためにも、IT・ICT・AIなどの技術は重要だと思われまます。人口が減少している天草という広い地域での医療・介護のニーズに、不足しているマンパワーを補うことができるとされる情報技術を整えていきたいと思えます。

今後、保健・医療・介護・福祉に関わる多くの施設・職種の方々との連携を通して、住民の皆さん、患者さんやその家族に寄り添い支えあう医療機関として運営を行っていきたいと考えております。

今後、現在のウィズコロナ、そしてアフターコロナ時代を見据えた対応が必要と思われまます。少しでも早く平穏な日々が訪れる事を願って、皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げます。年度初めのご挨拶とさせていただきます。

医療従事者向け新型コロナウイルスワクチン接種がはじまりました

総務課 平岡 英治

天草管内の新型コロナウイルス感染症の発生も現在のところ2月5日から報告されていませんが、熊本県内においては今もなお感染者の発生が認められています。

このようななかで、天草管内でも3月8日の週から優先的に新型コロナウイルス感染症の受入れを行っている医療機関の従事者に対する新型コロナワクチン（以下「コロナワクチン」という。）接種が始まりました。

ど待機していただきました。また、接種をうけた職員にこれまで体調に異常があったという報告はありませんでした。

しかし、担当した医師によると、「一般の方への接種では、注射による過去のアレルギー反応の有無などの確に把握できるか重要です。」と話されていました。



▲ワクチン到着

当院でも3月9日に第1弾としてコロナワクチン（24バイアル）が届きました。コロナワクチンは熊本県内においても割り当てられた必要数量に満たないことから、当院の対象職員350人の1/3にあたる120人に対して3月10日、11日の2日間で接種が行われました。



▲ワクチン接種



▲経過観察

脇田病院長は、「ワクチンを接種したから、新型コロナウイルスに絶対感染しないというわけではないので接種後もこれまで同様に感染予防は大切です。感染予防とワクチン接種が行われることで感染の発生が抑えられる可能性が高くなりますので、これまで通りでの対応をよろしくお願いいたします。」とのことでした。

また、第2弾は3月22日の週にコロナワクチンが届く予定となっており、準備が整い次第、接種となります。院内感染はもちろん、全体的な新型コロナウイルス感染症の収束を期待したいです。



▲受付・問診

当院の6階講堂に「コロナワクチン接種会場」を設置し、受付、問診を受けた後、コロナワクチンを接種して、経過を観察するために15分～30分ほ

第4回上天草地域在宅医療サポートセンター連絡会を行いました

在宅医療サポートセンター事務局 堀江 静

上天草総合病院では、県から指定をうけ院内に在宅医療サポートセンターを設置しており、在宅医療が円滑に進むように医療、介護、福祉に従事されている関係者の皆様をサポートする相談窓口となっています。

令和3年2月25日に第4回上天草地域在宅医療サポートセンターの連絡会をWEB会議で開催いたしました。上天草地域の先生方、訪問看護ステーション消防署 薬局の先生、宇城市の済生会三角病院の先生方、28名の参加となりました。

事務局から令和2年度の相談件数の報告を行い、終末期医療に関する訪問診療や訪問看護、入院受け入れの相談の10件の報告をしました。脇田院長からは、在宅医療連携体制推進協議会の報告、県の地域医療サポート連絡会の報告、くまもとメディカルネットワーク研修会の報告があり、新年度の地域在宅医療サポートセンターの新たな取り組みについても説明がありました。

協議においては、コロナ禍での、緊急時のバックアップ体制や入院受け入れのベッドの確保の協議、

また自宅での看取りや消防署の搬送についての意見交換を行いました。

最後に島田先生から「一番大事なのは、今日みたいに皆さんが気軽に話ができるところをいっぱい作っておくのがいいんじゃないか」と言葉をいただき、連絡会を終了しました。



在宅療養・介護が円滑に進むための情報提供やお手伝いをいたします。

開設時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00

（祝祭日及び年末年始は省く）

利用方法：電話相談または直接面談（要予約）

電話番号：0969-62-1122 地域医療支援課内

研修会・勉強会の行事予定表

4月8日(木)	学研・基礎研修 バイタルサインから患者の現在と未来を見抜く	15:00～ 当院6階講堂
4月16日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
4月23日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○新年度になりましたね。コロナはワクチン接種により感染収束へ向かうのでしょうか？

ところで、年度って4月から始まりますが、なぜだか知っていますか？

年度とは、特定の目的のために規定された1年の区切り方です。多くの場合官公庁などが予算を執行するための『会計年度』、学校などの学年の切り替わりを目的とした『学校年度』があります。会計年度は、1886年（明治19年）に始まりました。当時の主産業は稲作でしたが、納税はお米ではなく現金でしたのでお米の収穫から現金化までの期間を考えて4月を区切りにしたそうです。これは当時のイギリスを参考にしたということです。（城野）

4月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 中原 大智	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 林 広隆	永田 昌彦 林 広隆 中原 大智 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 中原 大智	永田 昌彦 原田 裕士 村本 啓	
	※4/1(木)の中原医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※花谷 聡子	-	-	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	-	-	-	林 広隆	-	4/1(木)
	※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。					
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	-	脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
外科	城野 英利	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	
	※毎週水曜日、金曜日の城野医師の診療は予約のみとなります。					
消化器科	坂口 将文 (新患)	坂口 将文 (新患)	-	-	-	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
	※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。					
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二 ※熊大 (第1・3・5)	竹下 哲二	竹下 哲二	
	※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。					
皮膚科	-	-	-	江頭 翔	-	
泌尿器科	-	小川 愛一郎	-	-	西 一彦	
超音波・ 内視鏡センター	坂口 将文	坂口 将文	※松野 健司	城野 英利 (健診のみ)	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	原田 裕士	中村 太造	応援	応援	中原 大智	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。